

基本構想について(総合計画審議会委員からの意見まとめ)

資料 2－2

	1. 将来都市像(案)について		2. その他、将来都市像(基本構想)に関するご意見
	将来都市像(案)	上記案をご提案いただく理由・イメージなど	
1	希望に満ちた輝く未来を“みんな”で創造するまち いちかわ	25年後の未来に向け、今の若い世代が、このまちで、夢を実現すべく一人ひとりが活躍し、そして、皆が誇れるまちづくりに取り組んでいるような、都市を創造するイメージ	
2	文化をつなぎ未来を育む 安全・安心で住みやすいまち いちかわ	これまでの将来都市像において継続して「文化」がキーワードとなっていることを踏まえつつ、市民参加から抽出したキーワード「健康」「子育て」「安心」「住環境」を盛り込んだ内容としました。 また、現在の市川市の魅力として交通利便性や犯罪や事故の少なさが上位を占めていることから、潜在的ニーズが高いと思われる「安全」も加えました。 (安全が確保できないと交通利便性は維持できないため、安全性と利便性は関連していると考えます)	
3	自然と文化を感じる 住み続けたい街 いちかわ	自然と文化を感じる ・これまでも文化や自然といったキーワードが入っていること、前回の審議会の議論から、自然や文化は市川の伝統であり、強みであるため。 住み続けたい街 ・前回の審議会で議論となつたが、市川に愛着を感じている市民は非常に多い。よって、これからも住み続けたい街として進化していく想いを込めて。また、子育て世帯の流出が顕著なため、その部分を防止する意図を込めて。	・審議会で課題として挙げられた「子育て世帯の流出」の一番の要因は、単身→家族になることでの住宅に係わる費用によるものと考えられ、それは、翻すと市川が魅力ある都市であること(=地価・家賃が高い)を証明していることである。 ・一見ジレンマの状態になっているが、より魅力ある街にするため、子育て世帯の囲い込みは重要であるため、解決に向けてご尽力いただきたい。
4	安心して生活できる、なにかと便利な街 いちかわ	災害や犯罪がなく、格差も少ない、みんなが安心して暮らせる街であり、生活に必要な買い物や教育や交通インフラが整備された便利な街	
5	①文化と自然があふれる未来都市 いちかわ ②希望育む いにしえの未来都市 いちかわ	市川は、都会に近い環境ながら、自然が多い街です。また、文教都市としてのポテンシャルがあり、これから更に、文化のまち・教育のまち、としてのアピールが必要であると感じています。 そして、今後、カーボンニュートラルの取り組みや、新たな施設の開設、新・街づくり基本構想の策定など…未来に向けて大きく動き出している市川市への期待を込めて「未来都市」のワードを入れました。 これから居住先を決めたい若い人たちが興味を持ってくれるような、市川に住みたいと思ってもらえるようなキャッチになるといいなと思います。	日頃より総合計画審議会の運営にご尽力くださいましてありがとうございます。皆さんの意見を取りまとめるのは大変と存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。わたくしのできることがありましたらなんでもおっしゃってください。

基本構想について(総合計画審議会委員からの意見まとめ)

資料 2－2

	1. 将来都市像(案)について		2. その他、将来都市像(基本構想)に関するご意見
	将来都市像(案)	上記案をご提案いただく理由・イメージなど	
6	【案5】 希望を育む都市と自然が共栄するまちいちかわ	未就学園児と保護者、また地域住民が希望を持ち育む都市であること。	
7	ひとりひとりの夢と希望があふれ 安心して健やかに暮らせるまち いちかわ	・将来の市の姿についてのアンケートで大人、中高生ともに「健康」「安心(災害、犯罪、事故のない社会)」を望む回答が多かったことを上記案の後半に反映させました。 ・中高生へのアンケートでは、「ひとりひとりの個性尊重」を望む回答が多いことを上記案の前半に反映させました。	生産年齢人口の減少を背景に今後、行政の有する資源(人的資源、予算等)をめぐる環境の厳しさが増していくことが想定されるなか、「市民参画」、「自助・共助」という面がまちづくりにおいてますます重要になると思います。そこで、現行の将来像にある「ともに築く」も盛り込みたかったのですが、なにぶん長くなってしまって、上記案では省いています。
8	希望を育む 安心して 住み続けられるまち いちかわ	[希望を育む] 新生活を始める若者、子育て・子どもの教育の若い世代、地域・福祉の高齢世代、それぞれ希望がもてる。 [安心して] 防災、道路・交通、保健・医療、生活環境の社会インフラの整備されている。 [住み続けたいまち] 文化が人々の繋がりをつくり、心の安らぎを日々の暮らしの中で享受できる。	
9	人とまちがゆるやかにつながる わたしたちの市川	人と人がゆるやかにつながる、人々が生きやすい都市を目指します。「まち」は地域や、市川の文化、自然、伝統、市の施策等を含みます。新しい住民が愛着を持てる市を目指すとともに、小学校の副読本「わたしたちの市川」を学んだ子どもたちが、将来住み続けたいと思う市であり続けることを目指します。	・事務局案は案3がよいと思います。 (・いくつか候補の中から市民に投票してもらって決める等、市民の方々が関心を持てるようにできたらよいのではと思います。)
10	暮らしの中で 自然と文化共に感じるまち いちかわ	日々の暮らしの中で、文化と共に生きる いちかわらしさの地球・暮らしは文化である	歩いて楽しく、歩きやすい街 特に、文化会館に向かう歩道の改良(歩きやすく、美しい歩道) まちのなかの街路樹

基本構想について(総合計画審議会委員からの意見まとめ)

資料2－2

	1. 将来都市像(案)について		2. その他、将来都市像(基本構想)に関するご意見
	将来都市像(案)	上記案をご提案いただく理由・イメージなど	
11	都市と自然が共栄し、安心と充実を実感できるまち いちかわ	東京に隣接し、利便性のある都市機能と昔からの自然を有することは市川のメリットで、これからも維持すべきもの。一方、市民の暮らしは市民が求める安全と全世代が生き生き充実した暮らしを実感できるよう、時代の変化にあわせ変化する柔軟性がある市であるべきと考えます。	変化の激しい現在、これからも住民のニーズ、求めは変化していきます。それに柔軟に対応できるというメッセージを入れるのも良いかと思いましたが、うまく思いつきませんでした。
12	いつまでも住み続けたいまち 未来都市 いちかわ	基本構想等に係るいちかわの未来に向けたアンケート報告書より、これからも市川市に住み続けたいと回答した方が、90.1%という喜ばしい回答に感銘を受けました。また、環境、社会、経済の三側面の価値の向上と好循環の実現という意味も込められた未来都市という言葉を加えて作成いたしました。	市川の将来都市像の実現に向けては、地域経済の活性化も重要と考えます。中小企業の創業、成長を支援し、市川市全体の地域経済の活性化を図るために時には斬新な発想も必要な気がいたします。具体的な内容につきましては、今後の検討課題として委員の皆様方のご意見等を頂戴しながら進めていくことが、もちろん大切なことと思っております。
13	ともに築く、すべての人に安全・安心・居場所がある、文化のまち市川	・前期における将来像の継承 ・前期からの社会情勢の変化、多様化する人々の価値観を尊重し反映 ・アンケートにおける市民の声を反映	
14	【案3】 安心して住み続けられる健やかなまち いちかわ	自然を大切にする事も大事ですので、加えられるなら「自然ゆたかな健やかなまち」	市民の声では健康と災害、社会保障が上位に挙げられていることから、(3)が良いと思います。
15	自然・文化と人がつながるまち いちかわ	既存の案に、人がつながるというイメージを付け加える。 市民活動などを見ても、中間支援組織が弱いなどといった課題がある。それを意識することで強化していく決意を示す	まちづくりにかかる既存コンテンツは多いが、連携・つながりが弱い。北部と南部、東京へはつながるが、南北の連携が弱い。地理的関係だけでなく、他市と比べて中間支援組織が弱いので市民活動団体の連携も弱い。市と大学、市と市民の距離感もある。それらを重点的に克服していくべきではないか。基本構想なので、弱みを自覚して取り組むことが大切を考える。